



▲地元のお寺で写真を撮るミッションへ向かう学生



▲海上自衛隊北吸積橋を見学



▲赤れんが4号棟に集結

京阪神や九州などから集まった大
学2〜3回生が舞鶴の魅力発信す
る「若者100人会議」究極人プロ
ジェクト」が9月6日〜8日に行
われました。同プロジェクトは舞鶴
の知名度向上と地元企業の人材確保
を目的に泊3日で開催され、学生

全国の大学生100人が舞鶴を発信

知らないからこゝろ気付けることがある

約100人が参加。グループに分か
れ「地元のお寺で記念写真を撮る」な
どのミッション(指針)を達成するた
め市内各地域を回り、市民と交流し
たり海上自衛隊の護衛艦や引揚記念
館を見学したりし、舞鶴の魅力をも
SNSで発信しました。7日には2日



8月13日〜18日に、姉妹都市を
提携して20周年を迎えるポーツマ
ス市(英国)に舞鶴市代表团(堤茂茂
長、4人)を派遣。現地視察や両市間
交流に係る意見交換、リー・メイソ
ン名誉市長との懇談を行い、相互理
解をさらに深めました。

舞鶴市代表团がポーツマス市を訪問

姉妹都市提携20周年記念

10月にはポーツマス市青少年訪
問団の初来鶴やリー・メイソン名
誉市長を団長とするポーツマス市
代表团の来鶴が予定されています。
《みなと振興・国際交流課》



▲訪問時の交流の様子



▲海上自衛隊がしほの搭載艇で避難



▲朝来小で安定ヨウ素剤に見立てたタブレットを配布



▲海上保安庁の巡視艇ゆらかせて西港まで避難



▲京都市消防局のヘリコプターでの要配慮者搬送

8月26日、大飯・高浜原子力発
電所の同時事故を想定した、「原
子力総合防災訓練」を実施。大浦・
朝来の地域住民の皆さんをはじめ
め、海上自衛隊、陸上自衛隊、海上
保安庁、京都府、京都市消防局、舞
鶴警察署、京都市、大浦・朝来消防
団など、12機関約2,800人が
参加しました。

原子力総合防災訓練を実施

12機関約2,800人が参加

PAZ(原発から5km圏)に
準じた地域(A・2ゾーン)の
大山・田井・成生・野原地区は、
地震で道路が寸断され孤立した
という想定で、海上自衛隊、陸
上自衛隊、京都市消防局のヘリ
コプターにより要配慮者を舞鶴
高専まで搬送。また海上自衛隊、
海上保安庁の船舶で海路避難を

実施後、バスに乗り換えて避難
時集結場所である西総合会館ま
で移動しました。
朝来地区(Bゾーン、原発から
10km圏)では、基準値を超える放
射線量を計測し、避難指示を発表
したという想定で実施。避難時集
結場所の朝来小学校に集合し、通
過証(訓練用の受け付け)、安定ヨ
ウ素剤に見立てたタブレットの
緊急配布など、避難時集結場所
の手順を確認しました。
その後、バスで避難中継所の三
段池公園(福知山市)に移動。避難
退避時検査や除染訓練を実施後、
広域避難訓練として、避難先(想
定)の京都市立芸術大学へ行き、
避難した場合の避難所生活や避
難所運営についての説明を受け
ました。
《危機管理・防災課》

親善試合やホームステイで交流

ナホトカ市から青少年ソフトボール訪問団が帰国

8月24日、赤れんが4号棟で姉
妹都市・ナホトカ市(ロシア)を訪
問していた舞鶴市青少年ソフトボ
ール訪問団(山口茂茂長、21人が
帰国報告会を行いました。8月16
日〜21日にナホトカ市を訪問。ナ
ホトカ市ソフトボールチームとの
親善試合のほか現地の子ども達と

ホームステイなどで交流を深めま
した。
本市とナホトカ市は1961
年に姉妹都市を提携し、スポーツ
などを通じ友好交流を続けていま
す。
《みなと振興・国際交流課》



▲ナホトカ市で親善試合後に集合

中学生まちづくり議会を実施

中学生議員が市に提案

8月25日、市議会議場で「まいづる
中学生まちづくり議会」を開催しま
した。子ども達にふるさと舞鶴への
愛着と誇りを持ってもらい、より良
い舞鶴について考える機会として実
施したもので、市内7中学校の2年
生21人が参加。この日のために市の
施策を勉強し、しっかりと自分たち
の思いを伝え、多々見市長や奥水教
育長が全ての提案に意見を述べまし
た。各中学校の生徒の提案の要旨は
次のとおりです。

- ◆青葉中…女性消防団員の加入を促す
取り組み(災害時の避難情報の伝達、地
域社会で継続的に取り組む健康づくり)
- ◆白糸中…保育人材を確保するための
取り組み、地域と親子の絆を深める子
育て、地元就職する人を増やすための
取り組み
- ◆和田中…舞鶴ならではの体験型ツア
ーの開催、生徒全員がしっかりと学べ
る学校づくり、誰もがスポーツを楽し
める環境づくり
- ◆城南中…誰もが安心して通行できる
道路整備、自然体験ができる清掃活動
の取り組み、地域活動により元気な高
齢者を増やす取り組み
- ◆城北中…地域の公園活用、舞鶴で働
いて暮らすための環境づくり、ふるさと
と舞鶴を愛する人を増やすこと
- ◆若浦中…舞鶴に繰り返し訪れても
らうための観光の取り組み、農山漁村



▲市長が中学生に意見を述べる



▲中学生が提案

地域における廃校跡地等の活用、相手
を理解し一人ひとりを大切にすること
を育むこと
◆加佐中…地元企業でのインターンシ
ップの実施、地域が主体となった防災
の取り組み、廃校を活用した宿泊施設
※中学生議会の様子は市ホームページに公開中(10月31日まで)。
《教育企画課》

傍聴できます 舞鶴版「地方創生」の意見交換会
10月13日に市民レビューを実施

市の取り組みを知ってもらい、取り組みをより良くするにはどうすればいいかという視点で意見を交換する市民レビューを実施します。今年度のテーマは「戦略的広報」と「地域づくりと人づくり」です。また、意見交換に先駆けて平成31年春に策定する「次期総合計画」の考え方について市長が説明します。だれでも傍聴できます。申し込み不要。

【日時】10月13日(出)13時〜17時30分
【場所】商工観光センター
【内容】◆多々見市長から次期総合計画についての説明
◆京都府立大教授の窪田好男さんをコーディネーターに市民審査員が2つのテーマについて意見交換
▶詳しくは、企画政策課 ☎66・1042)へ。

▲意見交換会(昨年)の様子

